

僕、科学者になろうと思ってるんだ……

星の降る夜に

～流星群の正体に迫る～

企画:飯山 青海 プロデューサー:田中 正明 監督:上坂 浩光 出演:加藤 央睦/坂詰 貴之
音楽:山下 宏明 制作・著作:大阪市立科学館/有限会社ライブ ● LIVE/五藤光学研究所

2019年 / フルドームデジタルプラネタリウム映像作品 / ©「星の降る夜に」製作委員会

投影期間 2022年12月10日(土)～2023年3月5日(日)

- 木曜日 (12月29日、1月5日、2月16日、2月23日、3月2日を除く) 15:30
- 土曜・日曜・祝日 (12月31日～1月2日、2月18日、2月19日を除く) 11:30 / 13:30
- 冬休み期間の火～金曜日 (12月27日、12月28日、1月4日～6日) 11:00 / 13:00

※ 投影スケジュール等は都合により変更になる場合があります。最新の情報をホームページでご確認ください。

※ 3月2日(木)は保守点検のため投影を休止します。

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約28分と番組「星の降る夜に」22分)

■ 料金 プラネタリウム観覧料 一般410円 中学生以下210円 ■ 所在地 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内

■ TEL 048(262)8431 ■ ホームページ <http://www.kawaguchi.science.museum/>



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum



星の降る夜に、流れ星への想いがつむぐ物語

その夜も少年は、いつものように秘密の丘へと流星観測に出かけた。

そこで出会ったのは、謎の老紳士。

そして、二人の上に、流れ星がまるで雨のように降り出した…。

「さあ、もっと高い空へ昇って行こう」

老紳士の不思議な力で、二人は雲を越え、流れ星へと近づいて行った。

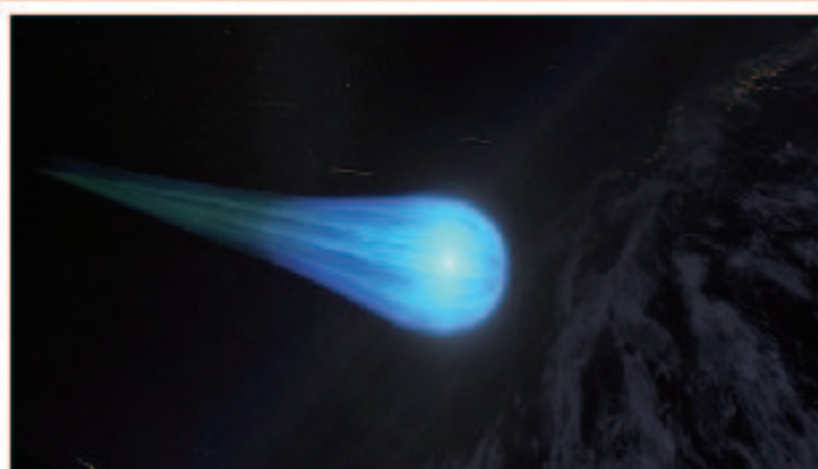
そして大気圏を抜け、ついには地球を見渡すことができる高みへ…。

少年はやがて、流れ星と流星群の”本当の真実”に気づいていく。

それは、憧れの科学者へと歩みだす初めの一歩となった。

夜空に一瞬の光を放ち消えていく、流れ星。その正体は何なのでしょう？
毎年、決まった日に、流れ星が多くなる流星群。どうしてこんな特別な夜があるのでしょうか？
そして、流れ星と太陽系をつなぐ壮大な旅路とは？

時間の流れと空間のスケールをダイナミックに行き来して流れ星の真実に迫ります。



企画：飯山 青海

プロデューサー：田中 正明

監督：上坂 浩光

キャスト：加藤 央睦、坂詰 貴之

音楽：山下 宏明

制作・著作：大阪市立科学館／有限会社ライブ／五藤光学研究所